第二百八十二號　（日曜日）　夕刊いわき民報　四ノ六日　（電話一二一番）

いわき民報

發行所　いわき民報社
平市田町一番地　電話三八一番
編輯兼發行人　千輝克己
印刷人
日刊　但月曜日を除く
定價　一ヶ月八円一部十四錢

戰機早くも衆參議選へ

知事と市長は明日午前中に
町村長は全部今夜中に判明

運命の賽は遂に振られた一今朝まで街頭演説に最後の努力を傾けつくした平市長を賭けた荻原、鈴木、大井川の三候補はいまはほをおさめてあすの開票を待つ、一方知事、町村長戰の各陣營にもまたきのうまでのぞう音もなく水を打つた靜さ、かくて戰雲全くおさまりやがてに迫る衆參兩院及び縣市町村議戰の彼岸に戰機は漸く動きつゝある一町村は投票締切り後即夜七時から一齊に開票に着手、一方市は明六日朝に開票を持ち越すが、町村結果は午前二時頃に、市も遲くも十時頃までには大勢決定の豫測であるが、果して運命の玉手箱は何人のものか吾等の一票がよく民主日本再建の礎石たり得たか、開票の結果こそ一般選擧民も待ち遠しい

出足は順調に

正午現在で約半數
市の投票成績調べ

絶好の選擧日和に惠まれたきよう五日、平市内の五投票區における正午現在の投票數は左のごとく知事七千二百六十票、市長七千百九十五票に達した、知事と市長の差六十六票は知事のみの投票を行つて持歸つたものとみられている、各投票所とも一見午前中は出足がにぶつたかの樣にみられたが從前の二投ひよう所が三ケ所增えて五ケ所となつたゝめいそ〳〵でのごとき混雜はみなくも有權數の約半數に滯ぎつけているので棄權も少いものとみられている、各投ひよう所別の投ひよう數左のとおり

▲第一投ひよう所（第三國民學校）知事千九百三十八ひよう、市長千九百三十八ひよう

▲第二投ひよう所（市役所）知事千九百四十四ひよう、市長千九百五十一ひよう

▲第三投ひよう所（女子商業學校）知事千二百五十七ひよう市長千二百五十四ひよう

▲第四投ひよう所（第二國民學校）知事千五百六十ひよう、市長千四百九十六ひよう

▲第五投ひよう所（第四國民學校）知事五百五十六ひよう、市長五百五十六ひよう

市議戰には齋藤氏推薦

土木建築協組

平土木建築工業協同組合では來るべき市議戰に顧問齋藤角治氏が出馬に決定したので全氏を組合として推薦全面的に應援必勝を期することになつた

勞働委員決定

正木草野兩氏に

平市商工會議所では縣勞働委員の使用者側委員が一、石城、双葉、相馬の各市三郡下で二名割當られたので去る二十五日石炭鑛業連盟加盟以外の事業所五十余名の參集を求めせん衒の結果、この程平土地住宅社長正木昌次郎、八田邊鐵工所常務取締役草野四郎兩氏を推薦した

柳明美公演

在日本朝鮮民主青年同盟石城支部では救濟事業資金募集の爲東洋一

衆院立候補

4日

鈴木傳明（四八）

炭鑛經營、平市仲町一四

無所屬、新

國井氏を

青果物荷受組合

市議選擧に推薦

平青果物荷受組合では業界から代表者を市議戰へ送れと理事長國井一美氏を推した

町村も新定員

郡下町村會議員の選擧は來る三十日行はれるが、各町村の定員數は左の如く決定、小名濱內鄕、湯本の三ケ町が三十名で平市と同じく肩をならべている

泉村二二、渡邊村一六、植田町二二、錦町二二、山田村二二、上遠野村二二、入遠野村一六、川部村二二、田人村二二、飯野村一六、夏井村一六、高久村一六、豐間町一六、江名町二二、鹿島村一六、磐崎村二二、湯本町三〇、內鄕町三〇、好間村二六、赤井村二六、永戸箕輪村一六、澤渡一三阪村二二、神谷村一六、草野村二二、四倉町二二、大野村一六、上下小川村一六、川前村一六

平署の親心

留置者の全部を自由に投ずよう場へ

平署では尊い選擧權を行使せしめなくては折角の民主選擧も魂を失うことになると司法部總動員で留置中の容疑者運中の取調べを急いだ結果五日は取調べを中止し全留置者に投ぴよう、を自由に行わせた

いわき寸言

▲審判は遂に下されたさて開ひよう結果はか各候補者の胸中や如何▲有權者も正しき審判を下し悔なかりしや、次々と續く選擧のため深く省みるべし▲未だに棄權のあとをたゝぬのは遺憾千萬、棄權は國賊と知り次回は一ぴきの棄權もあらすなと祈る▲新市長には誰が成る兎も角もよき親となる心構こそ大切、深く胸にたゝみ込むべし

工員採用

男工員　各若干名
女工員　一七、八才より三〇才まで（未經驗者可）

◆標準靴製作
商工省指定重點工場

平製靴工場
平市三町目二一（電四四六）

郡の有權者數

郡の選擧有權者確定數渡邊村一、三〇三、飯野村二、二〇八、永戸二、六四、夏井村一、六四一、簑輪二、六四、高久村二、六四一、澤渡一、六八三、阪三、六〇、二、五四一、

郡の選擧有權者確定數は衆、參議員十三萬四植田町四、七八、江名町四、五五、草野村二、九三、二、九三、千二百八十名、地方議山田村二、六六、二、六〇九、鹿島村一、二一〇、一、一四、大浦村二、六〇九、二、六五五、會議員十三萬三千四百錦町四、三四、四、二七八、小名濱二、六五二、一、七〇、四倉町五、二四、五、二四、海外引揚者磐城連盟ゆ七十六名と決定した、勿來町七、三二、七、三九、磐崎村四、五六一、四、一六六、大野村二、一五五、二、三五七、本支部では五日午後一各町村別有權者確定數上遠野三、一三〇、三、二〇、湯本町二、四三三、二、四三三、上小川二、七〇五、時と同六時の甍夜二回左のとおり（下段は地方議員有權者數）入遠野二、五七一、二、五六、内郷町一五、九六、二五、八四五、下小川二、七〇五、ゆ本座に山路ふみ子一川部村三、一六六、三、二五、好間村九、三四、九、二九七、川前村一、八四一、一、八四一、行五十名を招き基金募泉村三、二五一、三、二五一、田人村三、五五七、三、六〇九、赤井村五、二九三、五、三六六、合計一二四、二〇三、四六六、歌集のと踊りのタベを

あくまでも任意團體

現役員の主唱組織は避けよ　お久の存在を許すこと勿れ

隣組後は廢止

區内會、隣組は一日から廢止となつているが當局から善後策の指示があるまで曾く現狀のまゝで運營の肚であるのと世帶票の整理や轉出入の證明は當局の方針が確定されるまで從前通りに行い、無職證明や居住證明を市で行う事になつている爲一部ボス的役員はこの機に乘じて新團体の設立を目論見たり或は甚しきに至つては選擧戰に利用せんとしている向もあるがこの傾向は全國的傾向にもみられるので誤りなからしむるため内務省では次官から重ねて次のような通達を發し當局の態度を明かにした、從つて市民はあくまでも利用されたり手先きにされることを警戒せねばならない住民が隣保相ふのための事業や文化事業を内容にするもので自發的に出來たものなら問題はないが、この場合でも廢止されるまでは一日も早く主唱じて作る事は避けなければならない、だいたい新團体をどうしても作らなければ支障があるとは考えられない又隣組に替つて配給組などという定つた形のものが新に作られると思つているものもあるが配給は原則として個人單位になり主食も持込み配給にするしタバコも近く大藏省が切符制でいきたいといつているから隣組にかわる組織はあくまで任意團体として加入しようがしまいが支障はないよう着々裏付けされる事になつているから心配はない

川部四倉に凱歌

二割超過供米好調

郡下の二割超過供米は日を追つて活發化し二日の川部村を皮切りに四日四倉町が目標を突破凱歌を擧げた、進出もつともいちぢるしいのに川前錦兩町村があり一兩日中に目標突破となる模樣

消防後援會決算

伊藤久男公演

純益九千余圓

平市警防團では消防部員連の剌子等を購入すなつた

山路ふみ子公演

鈴重興行部披露に八日晝夜民衆劇場

天津在住十ケ年終戰後て、八日午後一時と六引揚げ伊東一氏二家の時からの晝夜二回民衆分家を創立した鈴重興劇場で映畫界の花山路行部鈴木重雄氏は伊藤ふみ子と其の樂團を招氏を始め風戸興行部、いて記念披露興行を開川德演藝社、小關興行催するが山路來るに前社その他市内の常設館人氣頗る盛んである劇場關係者の應援を得

運營協議會

農業會石城支部では七日午後二時から支部會議室に支部運營協議會を開催する

磐城連盟基金募集

五日湯本町で

▲牧入二三、二〇〇圓（招待券祝儀一九〇〇、會員券賣上二〇〇〇）▲支出二二、三五五〇圓、契約金二二〇〇〇、稅金六、五五〇、雜費五、〇〇〇▲差引純益九、五五〇圓

急募

女事務員　二名
高女卒　二十、三歲
高小卒　一名　十六歲－十八歲
健康にして志操堅固事務に經驗ある者至急面談のこと
平市仲一四番地（市役所前）
大利炭鑛平事務所
鑛主　鈴木傳明

選擧並一般印刷物御引受
◇石版部…ポスター感謝狀その他
◇活版部…名刺ハガキ事務用品一切
平市鍛治町二八
二國屋印刷所
工場主任　高野政久
高野立雄
電話五三三番